

1限月制の金・プラチナの証拠金取引

ポケットゴールド100先物 ポケットプラチナ100先物



金投資が注目されるワケ

究極の実物資産 それが金(ゴールド)

金は、株式や債券といった金融資産とは異なる値動きをする傾向があります。そのため、金をポートフォリオに組み入れることで金融資産のリスク分散が期待できます。また、「実物資産」である金は、株式や債券といった金融資産に特有の発行体の信用リスクとは無縁の投資対象ですので、発行体の破綻で「価値がゼロになって紙くずになる」といった心配はありません。さらに金は希少性が高く、酸化せず腐食しない特質を持ち、インフレにも強いことから、10年20年先を見据えた長期的な財産保全の手段としても優れています。金投資は、金地金や金貨の購入、純金積立など現物を取引する方法のほか、金 ETF や金先物取引に投資するなど様々な方法があります。



金価格を動かす主な要因

Factor 1 金融情勢

株式や債券など金融商品が下落すると、投資資金は金へシフトし、金価格は上昇する可能性が高まります。逆に景気が好転し株価が上昇すると、投資資金は金市場から離脱して株式市場に流れるため、金価格にとって圧迫材料となります。また、各国中央銀行がインフレ抑制や景気過熱を抑えるために金利を引き上げると、金利のつかない金は価格が下落することがあります。

Factor 2 為替動向

世界経済の減速や信用不安で米ドル、ユーロなどの国際決済通貨が下落して通貨不安が増大すると、金市場への投資資金のシフトが加速し、金価格が上昇する傾向が強まります。逆に、世界経済が安定すると通貨不安が後退し、金市場から投資資金が離脱すると、金価格が下落するケースがあります。大阪取引所の金先物価格は、理論的には円安になると輸入コストが上昇するため価格が上昇し、逆に、円高になると輸入コストが下がるため価格は下落します。

Factor 3 中央銀行の金売買

各国の中央銀行は、資産の評価を調整するために金を購入して、外貨準備高に占める金の比率を高める動きがあります。その場合、金価格は上昇する確率が高くなります。逆に、通貨不安や金融不安が後退し、中央銀行の金購入が減少したり、金を売却する動きへ転じる可能性が高まると、金価格にとって圧迫要因となります。

Factor 4 金 ETF

金 ETF(上場投資信託)は株式と同じ有価証券で、多数の投資家が出資した資金をプロが運用し、それで得た収益金を投資家に還元するタイプの金融商品です。一般的な金 ETF の特徴は、投資の裏付けとして、投資資金に応じた金地金を購入して保管することです(指値連動タイプなどもあります)。つまり、金 ETF の購入残高が増えればそれだけ金地金が買われ、結果として金価格は上昇することになります。逆に、金 ETF の購入残高が減少すれば保有残高は減り、金価格を押し下げる力として働きます。

Factor 5 インフレ

経済活動が活発になり、景気が回復を始めると、商品価格は先行して上昇することがあります。商品価格上昇の背景には、景気回復による商品の需要増とともに、各地方政府による財政出動や、中央銀行が金融緩和を行うことがあります。物価上昇によりインフレを招くと、金はインフレヘッジとして買われることがあります。逆に、リセッション(景気後退)となり物価抑制が効いてデフレ状態が続くと、金の買い人気は後退し、金価格が下落するケースが出てきます。

Factor 6 世界に影響を及ぼす大規模リスク

特定地域における政治的・軍事的な緊張をもたらす地政学リスクの高まりは、金への信頼を高め、金価格を押し上げる要因となります。金は「有事の備え」として人々の注目を集めることになるためです。一方で、国際的な不安や緊張が緩和し危機意識が薄れると金価格の下押し要因として作用します。また、貿易摩擦や世界的な気象変動による自然災害、そして世界規模のパンデミックなどに伴う世界経済の減速は、わたしたちの社会生活を不安に陥れるとともに金融・経済にも深刻なダメージを与えます。これらの大規模リスクへの備えとして、金は買われることがあります。

白金（プラチナ）投資が注目されるワケ

白金（プラチナ）はどんな金属？

白金は、優れた触媒作用や高い融点、化学的に安定しているという特性から、その利用は工業用のみならず、医療、環境関連分野にまで及んでおり産業に欠かせない貴金属となっています。

供給は、金・銀に比べて少なく、しかも全世界の年間鉱山生産量の70%強を南アフリカ共和国が占めるなど、地域的な偏在が著しいものとなっています。需要は工業用、宝飾品及び投資用の3つに大別されます。

白金は供給源の偏在が著しいのと同様に需要先の用途も特定分野の割合が大きいことから、主要生産国・消費国の政治・経済情勢や特定部門の需要動向によって大きく価格が変動する傾向があります。



白金価格を動かす主な要因

Factor 1 供給動向

白金の供給は南アフリカ共和国への依存度が極めて高いのが特徴です。このようなことから、南アフリカ共和国での鉱山ストや電力不足が発生して白金の生産に支障を来すと、供給不安が高まって、白金価格が上昇する可能性が出てきます。

Factor 2 自動車産業

白金は幅広い産業分野で活用されています。なかでも、自動車産業では排気ガスの浄化装置の触媒や燃料電池の触媒に利用されるため、必要不可欠な貴金属です。このため、世界で自動車販売台数が増加すると、白金の自動車触媒用需要の伸びが連想されて、白金価格を押し上げる可能性が出てきます。半面、自動車販売台数の減少や伸び悩み、ディーゼル車の減少などで白金価格が下落することがあります。

Factor 3 白金ETF

金と同様に、白金もETF（上場投資信託）が上場されており、日々、公表されている“保有残高”に注目する必要があります。保有残高の増加は、すなわち、白金ETFの購入が増えたことを意味しますから、白金価格を押し上げる要因になります。逆に、保有残高の減少は、白金ETFが売却されたことを意味しますから、白金価格を押し下げる要因になります。

Factor 4 為替動向

白金の国際価格は米ドル建てとなります。大阪取引所の白金先物は円建てで取引するため、理論的には為替が円安・米ドル高になった場合は上昇し、円高・米ドル安になった場合は下落します。一方、海外の米ドル建て白金価格は米ドル安になった場合は上昇し、米ドル高になった場合は下落します。

Factor 5 世界の景気動向

白金は優れた触媒作用や高い融点、化学的な安定性の高さといった特性から、自動車の触媒のみならず、化学、エレクトロニクス、ガラス、石油精製、高温測定などの工業用、さらには医療、環境関連分野などでも用いられており、現代では必須の産業素材となっています。このため、白金価格はそうした産業分野における需要の増減を左右する世界の景気動向にも敏感に反応します。

景況感の改善は白金の需要増加観測を高め白金価格を上昇させる要因になる一方で、それとは逆に先進諸国や中国の経済成長率の鈍化が懸念されると白金需要の後退不安が高まり白金価格を下落させるケースもあります。

Factor 6 投資マネーの動き

世界的な気象変動による自然災害、そしてパンデミックなどは世界経済が減速する要因となり、金融・経済に深刻なダメージを与える可能性があります。こういった場合は各国が金利を上げ下げする対策を講じ、マネーの供給量の調整を行い金融政策の正常化を目指します。各国が大規模な金融・財政政策を打ち出した結果、世界的な“力余り”が生じることで、マネーが市場へ流入し、商品価格を押し上げる可能性を高めます。逆に金融政策や政府の財政出動などにより景気回復が確認されると量的緩和政策を縮小し、金融政策の正常化を目指します。景気加熱や消費者物価上昇によるインフレ懸念等により、各国は金融引き締め策を講じ、その結果、マネーが商品市場から撤退すると商品価格は下落する可能性が高まります。

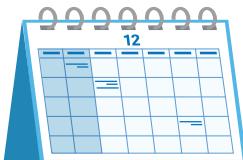


ポケットゴールド100先物・ ポケットプラチナ100先物の 魅力とは

ポケットゴールド100先物・ポケットプラチナ100先物は 大阪取引所（OSE）に上場する金（ゴールド）、白金（プラチナ）の標準先物の価格を対象とする証拠金取引です。取引単位が100グラムと小さいため、比較的小額の資金で取引に参加することができます。また、価格表示は国内の貴金属店などで目にするものと同様、グラム当たりの円建てのため、わかりやすいものとなっています。

取引期限は1限月制を採用

ポケットゴールド100先物・ポケットプラチナ100先物は、毎年12月に取引最終日を迎える1限月制を採用しています。このため、ロールオーバーすることなく最長1年2ヶ月にわたりポジションを保有することができます。取引期限までポジションを保有したとしても、現物の受渡しが発生しない設計となっており、この場合のポジションは最終清算数値により自動決済されます。



夜間でも取引ができる！

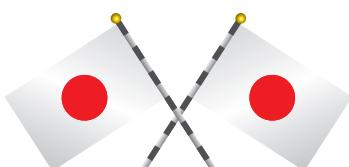
取引時間は、日中では8:45～15:45、夜間では17:00～翌日6:00です。海外イベント（米雇用統計の発表等）の時間帯も機動的な取引を行うことができます。



祝日でも取引ができる！

日本が祝日でも海外市場はほとんどがオープンしています。ポケットゴールド100先物・ポケットプラチナ100先物は祝日取引を実施していますので、祝日であっても取引機会を逃しません。

※祝日取引の実施日はJPウェブサイトでご確認ください。



レバレッジ効果で 資金効率の高い資産運用！

ポケットゴールド100先物・ポケットプラチナ100先物は、証拠金取引であるため、レバレッジ効果により資金効率の高い資産運用ができます。



取引所取引なので安心！

取引が行われる大阪取引所（OSE）は、金融庁の許可を受けた取引所です。取引の決済の履行は株式会社日本証券クリアリング機構（JSCC）が保証するほか、さまざまな投資家保護制度も完備されています。



デリバティブ取引同士の 損益通算が可能！

①申告分離課税により税率は一律20%

※2013年1月1日から2037年12月

31日までの25年間、所得税額に

対して2.1%の復興特別所得税が
追加的に課税されます。

②損失は3年間の繰越控除が可能

③日経225先物取引やFX取引等、他の金融商品先物取引等による所得との通算が可能



制度概要

	ポケットゴールド100先物	ポケットプラチナ100先物
		
取引の対象	金標準先物の価格	白金標準先物の価格
限月	1限月制 (取引期間は最長1年2か月。10月から12月までの間は2限月制。)	
取引最終日	翌年の12月限の金標準先物の取引最終日の前営業日 (日中立会まで)	翌年の12月限の白金標準先物の取引最終日の前営業日 (日中立会まで)
最終清算数値	金標準先物の当月限取引最終日における日中立会の始値	白金標準先物の当月限取引最終日における日中立会の始値
決済の方法	1. 転売または買戻し、2. 最終決済 (最終清算数値による決済)	
取引単位	100g	
呼値とその値段	1gにつき1円 (1取引単位につき100円)	
取引時間	8:45～15:45、17:00～翌6:00	
売買方法	個別競争売買 *価格優先・時間優先の原則に従って取引を成立	

「1限月制の金・プラチナの証拠金取引 ポケットゴールド100先物、ポケットプラチナ100先物(以下「本冊子」という。)」に関する著作権は、株式会社大阪取引所(以下「大阪取引所」という。)にあります。本冊子の一部又は全部を無断で転用、複製することはできません。

本冊子は、大阪取引所の先物取引に関する制度の概要説明のみを目的として提供されるもので、先物取引の勧誘を目的としたものではありません。先物取引においては、相場の変動等によって損失が生じるおそれがあり、差し入れた証拠金の全部若しくは一部を失う、または、差し入れた証拠金を超える損失を被ることがあります。

また、相場変動等により証拠金額に不足が生じた場合には、追加の差し入れが必要となります。お取引に際しては、あらかじめお取引先の金融商品取引業者等から交付される契約締結前交付書面等の書面の内容を十分にお読みいただき、商品の性質、取引の仕組み、リスクの存在、手数料等を十分に御理解いただいたうえで、御自身の判断と責任で取引を行ってください。

本冊子に含まれる記述などの使用に関し、大阪取引所は一切責任を負いません。大阪取引所は本冊子に記載の事項に関し、将来予告なしに変更することがあります。

(金融商品取引業者等使用欄)

株式会社大阪取引所

〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16
TEL: 06-4706-0800(代表)
URL: <https://www.jpx.co.jp/>

(2026年3月発行)